

HSK

とらじん

第121号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
H. S. K通巻435号

発行日 平成20年6月10日(毎月10日発行)

編集 北海道腎臓病患者連絡協議会
札幌市北区北17条西2丁目2番38-101

発行 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
細川 久美子

平成20年 初夏号

第31回道腎協定期総会開催
自治体病院等広域化連携構想について



「夏の花」

きりえ・作者：武川 秀男 氏

北海道腎臓病患者連絡協議会

第31回道腎協定期総会開催

第31回道腎協定期総会が、平成20年6月1日(日)滝川市滝川ホテル三浦華園に於いて、来賓8名と全道各地より会員・家族130名の参加のもと盛大に開催されました。



会長代行
掛札 聖氏

総会は、午前10時より吉野美津留幹事(岩見沢)の司会で始まり、大会直前の5月26日に逝去された、故堀井和彦前会長(札幌)や仲間のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

川村隆志会長は体調不良の為欠席となり、掛札会長代行(釧路)から「道腎協の定期総会にご参加の皆さんお



滝川市長
田村 弘氏

来賓

はようございます。来賓の皆様には、ご多忙のところご出席をいただきありがとうございます。本来であれば川村会長が挨拶をするところですが、今会長は体調を崩しており出席しておりません。代わって私から一言ご挨拶を申し上げます。

平成19年度も会員の皆様、地域腎友会の方々のご協力をいただきながら諸行事、運動を行ってまいりました。この場を借りてお礼を申し上げます。ところで先月5月26日前道腎協会長の堀井和彦氏が逝去されました。堀井さんは、昭和58年頃から道腎協幹事として、その後会計、事務局長として、平成13年からは一期会長として道腎協の為に尽力された方です。ご冥福をお祈り申し上げます。ところで道腎協が結成発足したのは昭和52年10月です。その時には上部団体である全腎協は結成されてお

でも・どこでも・誰でも』透析治療を受けられる時代は確立されておりました。しかしその後、国の厳しい財政状況と少子高齢化等により昭和59年の社会保険被保険者本人医療費一割自己負担が始まり、平成15年には3割負担になり、平成18年4月からは更生医療が自立支援医療と名称を変え、又、北海道は平成16年10月から重度心身障害者医療費助成制度(マル障)に原則1割自己負担を導入する等、さらに国・道は財政難という事で国民・道民に自己負担をさせようとしています。更に、今年4月1日からは後期高齢者医療制度がスタートしました。スタートする前、舛添厚労大臣の説明では保険料は安くなると言っていました。が、いざスタートすると保険料が以前より高くなったとの報道がほとんどです。私たち透析患者は障害者で、65歳以上74歳未満の方は任意加入です。ところが北海道を含め10道県では同制度に加入しない場合『マル障』を適用しない。あくまで加入が条件として

| 目次 Contents | |
|---|----|
| 第31回道腎協定期総会開催 | 2 |
| 自治体病院等広域化連携構想について | 6 |
| 全腎協大会 in 富山 | 7 |
| 阿部 純一(土別) | |
| 第64回(社)全腎協 北海道ブロック会議報告 | 8 |
| 第37次国会請願に参加して | 10 |
| 斉藤 一子(小樽) | |
| スタッフからの声 | 11 |
| 透析療法におけるチーム医療 ～患者さんと医療スタッフの関係～ (社)北海道臨床工学会 会長 真下 泰 | |
| 各地のたより | 12 |
| 江別、十勝、岩見沢、室蘭、留萌 三笠、オホーツク、北見、苫小牧 | |
| 投稿 | 15 |
| ・チャレンジャー 佐藤 時由(道南) ・現在までの道程 藤田豊之助(伊達) | |
| 表紙の写真 | 16 |
| 追悼 「堀井さんへ」 三上留美子(札幌) | 17 |
| 透析患者が利用できる福祉制度、ご存知ですか? | 18 |
| キノヒのコーナー 道腎協青年部について 小田 淳一(岩見沢) | 20 |
| ほっとステーション | 21 |
| ・透析をしている膠原病の方向じ立場の方 と交流しませんか? ・エッセイ(連載第3回) 土倫満 | |
| 全腎協 電話相談 | 22 |
| 事務局通信 | 22 |



石田クリニック
石田祐二 先生



滝川市議会議員 共産党
清水雅人 氏



北海道議会議員 フロンティア
大河昭彦 氏



北海道議会議員 民主党
佐野法充 氏



北海道議会議員 自由民主党
釣部 勲 氏



砂川市立病院泌尿器科部長
柳瀬雅裕 先生

負担に不公平を生むものである」と道等の対応を批判した記事が掲載されていきました。
又、5月14日開催された全国47都道府県広域連合の事務局長会合で、厚生労働省江利川事務次官は65歳以上74歳未満の障害者に対して加入を医療費助成の条件として義務付けるのは「事実上の強制と批判があることを勘案しどんな対応がよいか検討してほしい」と見直しを求める発言をしたとのこと。又、この制度に関しては最近の報道で与党は低所得者の保険料を見直すと言っており、野党は同制度は廃止すべきであるとの報道があり今後どの様になるのかわかりません。いずれにしても現代の経済・財政状況では、更に医療費負担が今以上にかかるようになるかわかりません。それには減少してきている会員数を増やし、透析患者の団体として組織率50%以上を上回らなければなりません。一個人ではど



財北海道難病連
常任理事 梁田 剛 氏

うにもならないことでも組織として行動することにより大きな力となるのです。会員皆でこの困難に立ち向かっていこうではありませんか。最後になりましたが本日ご出席いただきました来賓の皆様方には今後とも地域腎友会及び道腎協に対して更なるご理解ご協力を賜りますようお願い



議長団左から、近江谷守(旭川)、浅見恭行(北見) 両氏

祝電・メッセージ

北海道知事 高橋 はるみ 様
公明党北海道本部代表

北海道議会議長 稲津 久 様

砂川市長 菊谷 勝利 様

北海道透析医会

会長 大平 整 爾 先生

北海道透析療法学会

会長 久木田 和 丘 先生

札幌市透析医会

会長 中野 幸雄 先生

財団法人 北海道腎臓バンク

理事長 横内 龍三 様

社団法人 全国腎臓病協議会

会長 油井 清治 様

北海道腎臓移植患者連絡協議会

会長 松浦 信博 様

財団法人 北海道難病連

会員・役員一同 様

〈県腎協〉

岩手県、秋田県、山形県、福島県、

茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、

東京都、神奈川県、山梨県、長野県、

新潟県、富山県、福井県、石川県、

岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、

京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、

鳥取県、岡山県、広島県、山口県、

徳島県、香川県、愛媛県、高知県、



総会宣言(案)を読みあげる
川口松男氏(滝川)

い申し上げ、総会の挨拶と致します。本日はどうもありがとうございます。と挨拶がありました。」と挨拶がありました。

続いて来賓の滝川市長田村弘氏より「地元を代表して皆様を歓迎します。滝川市立病院管理者として医療の充実に努めます。」と挨拶がありました。次いで北海道議会議長釣部勲氏より「患者会の皆様から道議会へ寄せられた請願活動についてはよく承知しております。今後とも道と連携して透析機材助成策や通院交通費助成制度等皆様の住みやすい社会となるように努めます。」との挨拶があり、その後、民主党北海道総支部連合会幹事長佐野法充氏、道議会フロンティア議員会大河昭彦氏、日



事務局長
亀木芳三氏



総会会場

本共産党北海道議会議員団团长花岡ユリ子氏 代理滝川市議清水雅人氏、地元唯一の民間透析病院石田クリニック石田祐二院長、砂川市立病院泌尿器科部長柳瀬雅裕氏、(助北海道難病連理事梁田剛氏からそれぞれご挨拶を賜りました。

次に、福留夕起子幹事(室蘭)より北海道知事高橋はるみ様他多数の祝電・メッセージが披露されました。ここで来賓の皆様にはご退席を願う会場から大きな拍手で見送りました。その後、議長団に浅見恭行運営委員(北見)・近江谷守幹事(旭



会場入口、青年部コーナー

川)の2名が選出され議事に入りました。

荻木芳三事務局長より平成19年度活動報告、三上留美子会計(札幌)より平成19年度決算報告、福原真理子監査役(札幌)より平成19年度会計監査報告があり、3件一括で承認されました。

続いて、掛札会長代行より平成20年度活動方針(案)、三上会計より平成20年度予算(案)が提案され質疑応答の後、2件とも承認されました。今年度は役員改選期ではありませんが、一部変更となった役員の紹

感謝状を贈呈された方

佐賀県、長崎県、熊本県、宮崎県
(展示に)協力頂いたメーカー)
エルピス(株)様
ユアーマート(株)様
(株)ハツソー様
皆様に心より感謝申し上げます。

栗山 尚倫 様

平成13年度から16年度まで幹事、平成15年度から16年度まで(株)全腎協正会員、平成17年度から19年度まで(株)全腎協理事としてご活躍していただきました。今までのご苦労に感謝を込め表彰させていただきました。



栗山尚倫氏 代理 上條氏

介が苜木芳三事務局長よりありました。

小平敬明運営委員（旭川）が大会スローガン（案）、地元患者を代表して川口松男前幹事が総会宣言（案）を朗読して提案、拍手で採択されました。

一連の議題の審議を終了し、議長団の解任と挨拶があり全ての議事が終了しました。その後、永年道腎協役員及び（株）全腎協理事として活躍され本年3月31日をもって退任された栗山尚倫氏に対して、掛札会長代行より感謝状の贈呈式が行われ、栗山氏が体調不良により出席できなかった為、代理の上條富明氏（釧路）に贈呈しました。

最後に山口信子副会長（苫小牧）から総会実行委員に対する感謝と来年札幌大会で元気に再会しましょう、との閉会挨拶で総会は無事終了しました。



医療講演 高塚慶次先生



会場からご意見

した。

午後1時から道腎協総会記念医療講演会が『1医療崩壊の現状と打開、2腎不全と尿路感染、3腎機能低下時Ca・P 代謝異常症への2・3の助言』と題して、砂川市立病院前副院長 泌尿器科高塚慶次先生を講師に招聘して開催されました。非常に平易でしかも私たちが今一番身近に



会場からご意見

考えている問題についてお話しただきました。講演内容は機関誌「どうじん」次号に掲載予定です。

前日（31日）は、滝川市滝川ホテル三浦華園に於いて、総会に向けてブロック会議を開催し、総会運営要領と各自の役割について話し合いを行いました。その後同ホテルにおいて総会交流会を開きました。

最初に歓迎の龍栄太鼓・及川代表から曲紹介の後、中高生8名の豪快な演奏で一気に会場を盛り上げていただきました。その後は久しぶりの再会に、各テーブルで和やかな交流



交流会の様子

を楽しみました。今総会の開催決定時には、『腎友会滝川クリニック透析者の会』という受入れ患者会がありました。昨年10月末、諸般の状況により解散となり、開催が危ぶまれていましたが、旧患者会の役員を中心に個人会員として継続加入していただいた方々の協力を得て開催の運びとなりました。心より感謝申し上げます。

最後に今総会開催に終始助言をいただきました故堀井和彦前会長に心底より感謝し、ご冥福を祈り報告と致します。



前日交流会、迫力の龍栄太鼓

自治体病院等広域化・連携構想について

道は今年1月に、北海道医療対策協議会自治体病院等広域化検討分科会に於いて「自治体病院等広域化・連携構想」を決定し、同構想の推進を表明しました。

道がこの構想を作成した背景には、拡大する自治体病院の赤字にありま

す。平成17年度合計額111億円、累積欠損金1,208億円となります。これに加えて医師・看護師等の不足、過疎化に伴う患者数の減少、診療報酬の引き下げ等極めて厳しい経営環境にあり、病院を維持することが困難となりつつあるとの現状認識にあります。これに対応する施策として、道内94ある自治体病院を再編成する計画です。具体的には、道内を30の

区域に区分し、おおむね200床以上の一般病床を有する病院を中核的病院として、医師等医療資源を集約し、その他の病院は診療所化・規模の縮小化、又は、経営形態の再考を行うものです。構想の中で、47の自治体病院が名前を挙げられ、その対象とされています。(左側図参照)

私たちが重大な関心を持つのは、整理対象とされた47の病院の中に透

析施設をもつ病院が12あることです。昨年3月夕張市立病院が診療所化され透析室が廃止され、透析患者は遠く岩見沢・千歳・栗山等市外のは施設に転院を余儀なくされました。夕張市で起きた事態が、全道各地で再現される危険性が大きいのです。道はこの構想の進め方として、21

の保健医療福祉圏ごとに「地域保健医療福祉推進協議会」で基本的な考え方等について協議した後、市町村・医療機関・関係団体・住民代表等からなる「検討会議」に移行する

として、検討は地域自らが主体的に行うものであるとの立場です。本構

想もその為の提案であるとしています。道腎協としましは、現在でも美唄労災病院・道立紋別病院等で透析室の廃止や休止が生起している事態が各地で生ずることの無いよう、道を通じて「地域保健医療福祉推進協議会」に働きかけます。この為に透析患者の通院実態調査を北海道透析療法学会・北海道透析医会の協力を得て実施し、

具体的な数値を示して透析患者の立場を訴えていく方針です。調査の実施に皆様の協力をお願いします。又、地域腎友会に於いても、各市町村で開催されるであろう検討会議に向けて、市町村及び議会議員の先生方との連携を密にして十分な事前準備をされますようお願いいたします。

この構想の細部は、北海道保健福祉部のホームページに掲載されていますので自分たちの地域のどの病院

か、又診療所化に挙げられているのかを確認してみてください。現在の進行状況について道の担当者に確認したところ、具体的に検討会議を設置し討議がされている所は、白老町・士別市の2ヶ所ですが、今後5〜6年かけて各地域において導入していきたいとしています。

| | |
|----|---|
| 渡島 | 森町国保病院 松前町立松前病院 |
| 松山 | 八雲町熊石国保病院 乙部町国保病院 厚沢部町国保病院 奥尻町国保病院 |
| 空知 | 国保由仁町立病院 幌加内町国保病院 市立三笠総合病院 市立美唄病院 歌志内市立病院 市立赤平総合病院 |
| 後志 | 黒松内町国保病院 京極町国保病院 市立小樽病院 市立小樽第二病院 |
| 胆振 | 豊浦町国保病院 白老町立国保病院 |
| 日高 | 平取町国保病院 新ひだか町立静内病院 新冠国保病院 新ひだか町立三石病院 |
| 上川 | 上川町立病院 国保町立和寒病院 上富良野町立病院 国保中富良野町立病院 市立土別総合病院 |
| 留萌 | 遠別町立国保病院 天塩町立国保病院 幌延町立病院 |
| 宗谷 | 猿払村国保病院 豊富町国保病院 |
| 網走 | 興部町国保病院 雄武町国保病院 士幌町国保病院 池田町立病院 |
| 十勝 | 鹿追町国保病院 本別町国保病院 足寄町国保病院 大樹町立国保病院 広尾町国保病院 |
| 釧路 | 市立釧路国保阿寒病院 標茶町立病院 町立厚岸病院 |
| 根室 | 標津町国保標津病院 羅臼町国保病院 市立根室病院 |

全腎協全国大会in富山

阿部 純一（士別、透析歴30年）

今回は、富山県での開催で、富山空港へ降り立った時は暑く、しかし、空港から富山市への風景は瓦屋根以外は田園が多く、北海道と似た風景で親近感がありました。

5月24日(土)夜に富山市総合体育館で、交流会が、開催されました。富山県腎協事務局長さんの歓迎の挨拶で始まりこれまで最高の人数600人以上アリーナいっぱい

の参加人数で途中「越中おわら踊り」や「ジャズ演奏」



前列右が阿部さん

を楽しみながら、名物の白えびやマスを食べました。会場内では、

全国青年交流会で知り合いになった人達と久しぶりに会い、話しながら夢中で一番楽しみにしていた「サイコロステーキ」を食べられなかった事だけが心残りです。

翌日25日(日)は、9時から総会、午後からは分科会が行われ、大会の参加者は700人以上で歴代最高の人数だったそうです。

油井会長の挨拶の中で、「日本の医療制度を継続しもっとも係わっている透析者が積極的に今の制度を守る活動をしていく、そして今ペンがあれば命と書きたい気持ちです。」と話していたのが、

心に残り患者会活動をしていく事が、自分の為だけではなくこれからの人達の命も繋いでいる事なんだと、強く感じました。

宮本全腎協副会長さんの基調報告では、全国的な組織率の低下など、今抱えている全腎協の問題点と、新しいこれからの全腎協の未来像の説明をもらいました。

詳しくは、全腎協会報で報告があると思います。

午後からの分科会は、「腎臓病患者の医療・福祉制度を考える」に参加。侯野理事から「全腎協として会員の声を聞き参加者で問題を共有する姿勢で進めて行きたい。」と、始まり、最初は全腎協からの現在の医療・福祉制度の報告説明があり各都道府県参加者からの質問等を受ける形でした。各

県からは、全腎協への要望や不満などが多かったので、私から最初に自己負担導入が始まった北海道の経験と現在の問題を話してきました。北海道でもそうですが、全国的にも自己負担が始まっている

都府県も多くそれにより自立支援医療を使う為に資格を取る病院が増えていることから国が半分を助成している自立支援医療の国の負担が上がるのは目に見えています。

現在自己負担のない都府県や市町村への対応をよく考えて活動を進めて欲しいと話しました。

その後に、神奈川県腎協の方は、北海道の事を知り神奈川県は、

神奈川独自の制度を新しく作ってもらおうように署名や要望書を作り活動していると話してくださいました。

飛行機の時間もあり、最後まで分科会には参加できませんでしたが、今回の総会・分科会は自分身いい勉強になり全腎協・道腎協の役割や繋がりも感じられた気がします。厚生労働省(国)との直接の話を何度も私達会員が、出来ない部分をしてくれていると強く感じました。ただ毎年の国会請願の一人ひとりの署名があるからこそ今回の4月の診療報酬改正の透析時間点数引き上げも認められたと思います。現実に北海道内で、昨年透析時間が短くなり、4月の改正後に4時間透析に戻ったところもありました。今いる場所には、役員も少なく患者会を継続しているのが、難しくなっていると感じることもありますが、全道や全国に多くの透析者が自分の為多くの患者の為に毎日を精一杯生きていくと思う事ができた今回の全国大会の参加でした。

北海道ブロック会議報告



ご挨拶する全腎協油井会長

平成20年4月19日(土)・20日(日)札幌市のホテルユニオンに於いて、第64回(社)全国腎臓病協議会北海道ブロック会議が役員等28名の出席により開催されました。19日には(社)全腎協油井会長、20日には(社)全腎協油井会長、金子副会長にも参加して頂きました。

山口副会長(苫小牧)の「マル障・自立支援法・後期高齢者医療制度等の改悪の続く中、会員の減少傾向に

ある現況を打破しましょう。」との開会の挨拶に始まり、逝去された病友の冥福を祈り黙祷を捧げました。川村会長が体調不良で欠席の為、掛川会長代行(釧路)から「本日は油井会長の出席を得ております。各地域代表からの活動報告を聞いて頂きたいと思います。今私たちを取り巻く状況は、後期高齢者医療制度における負担増、介護保険においても厚労大臣は保険料の引き上げに言及しております。又、道内におきましても道立紋別病院で医師の退職により透析室の閉鎖や名寄市立病院での透析時間の短縮などが起きております。これらの問題で個人が役所に行っても何ら対応してもらえませんが、患者会で要請活動をしていくことが大事であり、その為にも会員数の増強が必要です。」との挨拶がありました。続いて油井会長より「北海道もすっかり春めいてきました。千歳空港に着いたら大阪より暖かいのが驚きました。この季節は人が一番

活発に活動できる時です。今日は無理を言ってこの会議に参加させていただけました。今一番大事にしていかなければならないことは、全国一人ひとりの声をとらえて活動に反映させていくことが全腎協の役目だと思えます。今日は全道から集まられた役員の皆様の生の声を聞かせていただいで、全腎協へのお叱りや激励があれば遠慮なくおっしゃっていただきたいと思えます。今全腎協会員は104,000名おりますが透析患者は27万人近くとなっております。全腎協率は40%を切っております。全腎協は日本一の患者会だと言われますが、組織率が40%では全腎協への評価は厳しいものだと思われまます。これは全腎協に対するお叱りだと自覚しております。組織の拡充に関して私自身が会長を引き受け、全国一人ひとりにでも働きかけて行きたいと思っております。今日はそういう意味でも皆様の生の声を聞かせていただきます。」との挨拶がありました。引き続き3月末で(社)全腎協理事を退任された栗山尚倫氏(釧路)より「3年間皆様の協力を得て全腎協理事として務めることができましたが、最近では体調が芳しくなく退任す

ることになりました。後任者も内定したと聞いて安心しております。ありがとうございました。ごさいました。」との挨拶がありました。その後、庄野運営委員(札幌)を議長に選出し議題に入りました。

議題

(1) 地域患者会報告

〈旭川〉

○「腎移植って何だろう」講演会開催。

○旭川市障害者スポーツ記録大会参加。

○「きよくじん文化祭」開催。

○後期高齢者医療制度を考える市民集会参加。

〈岩見沢〉

○医療講演会「高血圧について」開催。

○岩見沢地区腎友会連絡協議会開催。

○看護科長との意見交換会実施。

〈浦河〉

○腎キャンペーン実施。

○全腎協国会請願署名募金活動。

〈江別〉

○設立20周年記念事業(記念品贈呈式実施)。

○役員会開催。

〈小樽〉

○親睦旅行実施(定山溪温泉一泊)。

○後期高齢者医療制度説明会開催。

○幹事会開催。

〈オホーツク〉

○オホーツク腎移植懇談会実施。

○物品販売実施(通年)。

○平成19年度透析病院との懇談会。

○観楓会実施(知床一泊)。

〈北見〉

○腎移植講演会開催。

○秋の宿泊交流会実施(網走一泊)。

○北見市健康まつり参加(署名・募金活動)。

〈釧路〉

○レク一泊旅行実施(川湯・摩周湖)。

○釧路健康まつり参加(国会請願署名活動)。

○「災害時の透析医療について」アンケート実施(11施設)。

〈札幌〉

○市障がい福祉課訪問(「障がい者交通費助成見直し」について)。

○「障がい者交通費助成見直し」について札幌市長に要望書提出。

出。

○後期高齢者医療制度について札幌市長に要望書提出。

〈伊達〉

○洞爺湖温泉、日帰り昼食会実施。

〈道南〉

○腎キヤンペーン実施(函館市健康まつり協賛)。

○後期高齢者医療制度の説明会実施。

〈十勝〉

○秋のレク椎茸狩り実施。

○帯広市障害福祉課と話し合い。

○「おいしく食べて長生きするヒケツ」開催。

○苫小牧市立図書館館長に福祉店の要請。

○苫小牧市長に3項目の請願書提出。

〈深川〉

○総会開催。

○役員会開催。

〈室蘭〉

○日鋼記念病院理事長へ「診療体制の早期正常化」を要請。

○「お正月を楽しく過ごすために」カリウムについて」講演会開催。

〈留萌〉

○留萌市ふれあい広場参加(腎キヤンペーン実施)。

○塩分について教育調理実習実施(市立病院透析科)。

〈稚内〉

○食事会実施(副港市場)。

〈士別〉

○総会開催(後期高齢者医療説明会)。

○役員会開催。

〈三笠〉

○岩見沢地区腎友会と合同役員会開催。

○国会請願署名募金活動。

○総会開催。

〈富良野〉

○国会請願署名活動。

○総会開催。

○会員拡大に透析医・看護師の協力を得て活動。

〈名寄〉

○総会開催。

(2) 第35回(社)全腎協通常総会報告

掛札正会員(釧路)より「平成20年3月15日(土)・16日(日)、東京都品川区の大森東急インに於いて開催され、活動報告の後、平成20年度事業計画(案)・予算(案)に

ついて審議されました。」との報告がありました。

(3) 第37次全腎協国会請願報告

坂幹事(札幌)より「平成20年3月27日(木)、国会議員会館に於いて北海道からは3名の参加により、請願署名41、656筆が提出請願されました。尚、募金につきましては1、662、131円が寄せられました。」との報告がありました。

(4) 第31回道腎協定期総会議案について

総会議案書に沿って審議が進み、一部の文言に修正がありました。修正後承認されました。役員人事について、3月31日で退任された(社)全腎協理事栗山尚倫氏の後任に三上留美子氏(札幌)、正会員掛札聖氏の後任に小平敬明氏(旭川)が紹介されました。任期は前任者の残期間平成21年3月末迄です。

(5) 組織検討委員会報告

第4回組織検討委員会から、新たに北征子氏(小樽)・吉野美津留氏(岩見沢)・川本充氏(伊達)・外川純也氏(札幌)の4名を加えて構成され検討を進めることにな

りました。

(6) 地域医療問題について

北海道が作成した「自治体病院等広域化・連携構想」について話し合い、今後は地域腎友会・道腎協で相携えて対応していくことを確認しました。

(7) その他

○第31回道腎協定期総会について

平成20年6月1日(日)

午前10時～12時

滝川ホテル三浦華園

滝川市花月町2-126

医療講演会 午後1時～

講師 砂川市立病院泌尿器科

高塚慶次先生

テーマ

(1) 医療崩壊～現状と打開

(2) 腎不全と尿路感染

(3) 腎機能低下時Ca・P代謝

異常症への二、三の助言

○交流会

平成20年5月31日(土)午後6時～

滝川ホテル三浦華園

参加費 4,200円

以上で議事を終え、山谷運営委員(道南)の閉会の挨拶で無事終了しました。

第37次国会請願に参加して

斉藤 一子(小樽)

2008年3月27日(木)、宿泊施設を出発した北海道ブロック代表3名(釧路・札幌・小樽)は、いくつかの乗物を乗りつぎ、国会議事堂へと向かいました。

東京は桜の花が満開で、上野公園では花見が開かれ、学校も春休みなので空港も駅も人であふれ、

人口の多さを物語り都市集中型を肌で感じました。

『腎疾患総合対策』の早期確立を要望する「請願行動に、是非参加したいと希望し、いよいよ今日実現が可能となった私は、透析歴25年、年令は75歳(10月で満75歳)最後の記念すべき年にしたかったです。

47都道府県から集った約300名近い透析患者は迫力がありました。東京16名、埼玉、静岡、愛知、大阪、兵庫等は10名、その他からは、5名～6名の参加です。全腎協からは、2名分の旅費しか支給されませんが、各県単位で経費を出し、この請願行動に参加したのです。

10時30分から正午まで、衆議院第二会議室に集合していた私達は、第一会議室へ。各県代表2名で第一会議室へ移動し、うず高く積まれた署名簿を見、これが透析患者の命を守っているのだと思いました。

午前中、講演、各政党の挨拶、紹介議員338名中、34名の議員

さんには、出身地・氏名を述べ、「がんばります。」と、ご挨拶していただきました。本当に実現してくれたら良いと思いました。午後からは、各県ごとに分けられた署名簿を、紹介議員に渡すべく袋に入れ、持ち歩くのです。北海道は5名の議員さんでした。

7階から2階へエレベーターで移動するものの、署名簿はずしりと重く、若くて元気でなければ、請願行動には、参加出来ないと思えました。私はお陰様で2人の方に持っていたいただきましたので、助かりました。

2007年度署名の数は1,000、2,000名でした。今年は何んとしても組織を強化し、1,100、000名を目標にがんばりたいと話しをして下さった全腎協会長の言葉が印象的でした。

請願事項8項目をかかげ、秋に向けての署名にがんばらなければと、つくづく思い、帰路に着きました。

透析療法におけるチーム医療

患者さんと医療スタッフの関係

皆さんこんにちは。(北海道臨床工学技士会の真下です。今回このように投稿させていただける機会をいただきありがとうございます。私が透析医療に従事するようになり早20数年、それから考えると透析技術の進歩はすさまじいものがあります。

電卓片手に圧の調整をしながら除水設定、後ろを振り返ると血圧低下で意識が…という光景が今では懐かしい思い出になっています。しかし今も昔も変わらないのは、透析は患者さんと医療スタッフが力を合わせて行う治療ということです。私も最初はずいぶん患者さんに透析のことを教えてもらいました。教科書的には一通り勉強しているのですが、教科書と臨床とは違うものかと驚かされていました。(たぶん当時の私を知っている方は???)とお思いでしょうが(笑)今、「チーム医療」ということが盛んに言われております。透析はそのチーム医療の典型的なものです。医師、看護師、

臨床工学技士、管理栄養士、薬剤師など様々な職種がチームを組んでよい治療を行うため切磋琢磨しております。(残念ながら患者管理という言葉で一方通行的な指導も多々ありますが…)皆さんは、治療に関しては医師や看護師、臨床工学技士に任せきりにならず積極的に参加していますか?また、「自分の体は自分がよく知っている」などと言っていますませんか?透析はチーム医療であると云いました。

それは、患者さんもチームの一員であるということです。お互い立場は違いますが、目標は同じです。その目標に向け日々治療をしているわけですから、ここで、「楽な透析」と「良い透析」は違うということを考えてみてください。皆さんは「楽な透析」を望むと思いますが決してプラスにはなりません。この冊子でも色々な方が同じことを言っていると思いますので一度見直してみてください。では、「良い透析」をするためには

何が必要なのか?これが今回のテーマであります。「患者さんと医療スタッフの関係」になるわけです。「良い透析」をするためには「良いチーム」が必要だと思います。そこで「良いチーム」を作るためには何が必要か?それは、日ごろからのコミュニケーションが必要となります。コミュニケーション(信頼関係)を築くには、「会話(言葉)」が非常に大事だと思えます。「人間社会においては言葉が大切である。」といわれています。

そういうことでも透析室という空間の中で、患者さんと医療スタッフとのかかわりに大切なのは言葉だと思えます。先にも述べていますが透析は、患者と医療スタッフとの共同作業によってなされているもので、我々が良い仕事(治療)をしたいと思えば、どうしても患者さんの協力が必要となります。透析で医療スタッフが最優先しているのは、「患者さんに最善(安全・安心)の透析医療を提供すること」です。そのため患者さんとのコミュニケーションを大切にしています。患者さんの変化を素早く察知するために、顔色を見たり、会話から気分を察したり、

ふだんの生活の話から変化を見つけたりと、会話から得られる情報はとても貴重です。嫌がらず会話をしましょう。何でも話し合える関係を築きましょう。患者さんも「良い透析」を受けられる権利がある訳ですから医療スタッフにドンドン注文を出して、より良い情報交換をしましょう。透析治療においては患者さんと医療スタッフの目標は同じですので、「お互い言葉を発し、耳を傾ける。」その小さなことが「良い透析」をするため一番大事なことであると思えます。「良い透析」をするために「辛い透析」になっていませんか。「辛い透析」になっていくようでしたら言葉を発してみましょう。コミュニケーションが大切といっても「仲良しのお友達」とは違います。より良い透析医療をするための「チーム」であります。治療の根底にあるのは、患者さんと医療スタッフの信頼関係です。技術、知識だけでは良い関係は成立しませんので我々もそのことは忘れないように気をつけております。チーム一丸となって「良い透析」を目指しましょう。

各地のたより

江別

「通院送迎ボランティア活動について」



今年度から医療制度改革で「後期高齢者医療制度」が導入され、私たち透析患者には深刻な制度です。このような、様々な医療制度の改悪により、これからは、ますます医療費が負担増になってきます。

(医) 溪和会江別病院腎臓病患者会では、患者さんの通院時の体調面など、又、費用など少しでも負担を軽減するのを目的に「通院送迎ボランティア・あすなる会」を運営しております。

顧みますと、10年前に一人の患者さんのボランティア精神が足がかりとなり発足したのであります。透析歴30年の「斎藤義生^{よしあき}さん」が、長

年お勤めなられた会社を定年退職をきつかけに、大勢の方々に支えられ、今日まで透析を続けてこられたことへの感謝の気持ちとして思いついたのが、透析患者の方々の通院送迎ボランティアです。最初は斎藤さん個人のマイカーではじめられたのです。

当時は2、3人ほどの方の送迎をしておりますが、3ヶ月ほど経過してから、患者さんが患者さんの送迎をするというのは、斎藤さんの体調のことや安全面などで主治医の南田先生が心配され、病院が運営するのも他診療科に通院している患者さんとの兼ね合いもあり、腎臓病患者会で運営しては如何との話で、運営資金については、病院からも支援をいただくことで、患者会で斎藤さんの意思を継承し「通院送迎ボランティア・あすなる会」を発足することになったのです。

発足時、送迎用車両はどうするか。又、運転手はどうするか。安全面をどのように図るのかなど様々な問題がありました。斎藤さんと副会長の

渡辺良彦(透析歴20年)さん、私などが中心となって準備をし具体化に向け進めました。最初の送迎車は中古の介護車をリース。特に、安全・安心の面では元プロの運転手でバス会社を退職したOBの方にお願いをし、又、種々の安心保険にも加入。このようにスタートした「通院送迎ボランティア・あすなる会」に携わっている方たちは、皆ボランティア精神をもって活動しております。皆さんのご理解とご支援よろしくお願い致します。

現在は送迎車も新車を導入し2台で運行しております。利用患者さんも25、30名ほどの方々に利用いただいております。運転手さんは、3名の方にボランティア精神で参加をお願いして運行をしております。皆さんアルバイト程度の謝礼にてお手伝いしていただいております。又、ご利用いただいた患者さんには、1回250円(付き添いは100円)のご負担いただいております。これだけでは到底運営資金は賄えませんが、病院からの支援のおかげで何とか運営できています。

これからも「通院送迎ボランティア・あすなる会」を続けていくため

には、患者さんの理解と支援がかかせません。患者会の役員の方々は皆ボランティアで参加し活動しておりますが、皆さんと同じく透析治療を受けている患者です。高齢化し、又、活動の負担も大きく体調を崩すときもあり、運営にあたり、利用されている方には何かとご不便をかけていることもあります。

これからも、一人でも多くの方々にお手伝いいただき、少しでも多くの患者さんのお役にたてればと役員一同頑張つて活動を続けたく思っております。(報告 矢野 清)

十勝

「第24回定期総会」終わる!

平成20年4月20日(日)、午前10時より十勝プラザに於いて会員、家族49名の参加者にて定期総会が盛大に開催されました。

まず亡くなられた多くの仲間黙祷を捧げ、井原会長の挨拶の後に来賓の皆様を紹介し、砂川市長をはじめ、衆議院議員石川知裕さん、道議会議員清水誠一さん、帯広市議会厚生委員長大竹口武光さんより一言ずつお言葉をいただきました。(他来賓 池木柳次さんと小野寺秀さん)



岩見沢

「定期総会と研修会」開催

4月27日(日)、午後13時から、行いました。

1部に研修会と題して、岩見沢市役所「福祉課」の方と「ふくろうの杜」の方を講師に招いて「後期高齢者医療制度」について、「ふくろうの杜」の方には「福祉タクシーについて」の説明を受けました。集まった人は、21名程でしたがみんな真剣にお話を聞いていました。

2部では岩見沢市立病院腎友会総会を開き、平成19年度の事業報告と収支決算、会計監査報告をした後に平成20年度の活動計画案と予算案他を審議し無事に終わることができました。(報告 立花つるえ)

室蘭

「第3回障がい者と家族のボウリング大会」開催

4月6日(日)、室蘭東ライオンズクラブ主催で室蘭市東町の室蘭グラウンドボウルで開催されました。会員44人ほか家族、施設職員も交え約160人が参加、その中に室蘭地方腎友会から6名参加、1レーン4名

6名で全28レーンを貸し切つて一投ごとに拍手と歓声を上げたり、ストライクやスペアーが出るたびに「二喜一憂」し、熱いプレイが展開されました。

車いす利用者は傾斜が付いた土台を利用しストライクに挑戦。方向良く転がったボールがピンを勢い良くなぎ倒すと会場は大きな歓声に包まれていました。ガータストッパーをうまく利用したり、勢いあまって隣のレーンに飛び込むハプニングもあり、アツという間の4時間のゲームでした。頭で描いているようにピンは倒れてくれませんでした。気分



転換で気持ちのよい汗は爽やかでした。景品には作業所で作ったタオル掛けなど、手作り品が用意されました。ちなみにその他の商品は腎友会の方は8位で「乾燥しいたけ」、40位で「食パン」だそうです。

室蘭東ライオンズクラブ島下会長は「ボウリングなどの交流を目的とする一方で障がい者が外出する機会を増やすきっかけにしたい」と、今後も継続して行きたい。と、挨拶されていました。

(報告 合田 晃)

留萌

「第32回定期総会」終了

去る4月20日(日)、午前11時より留萌地方水無人腎友会、定期総会が開催されました。当日は会員、家族20名が出席しました。平成19年度事業活動報告、会計報告、平成20年度の事業計画・会計予算等の審議が有り、前年度も参加人員が少なかったが今年度も同じだったので会議の中で会員全員に呼びかけて総会に参加するようにとの意見が有りました。平成19年度の反省と平成20年度の抱負を誓い終了、その後慰労会をその場で実施し総会、慰労会を無事終了する

続いて祝電、メッセージの披露をした後、来賓の皆様が退席されました。会則の通り井原会長の議事進行により、活動報告、会計決算報告、会計監査報告をし拍手をもって全て承認されました。又、会則改定案では名称を「とかち腎友会」と改名する事に決定し、新たな気持ちで活動に取り組む事を決意して散会となりました。午後からは後期高齢者医療制度について「詳しく聞きたい。」と会員の要望に答えて、帯広市国保課より説明していただきました。

(報告 小笠原和枝)



ことができました。

(報告 浦田 光男)

三笠

「紅葉の奈井江温泉へ」

昨年の10月28日(日)、私たち三笠腎友会は恒例の日帰りの旅行へ出発。天候にも恵まれ今年の目的地、奈井江温泉へ向かう事一時間。山間の中に、一軒ホテルがあり、山は紅葉も終盤とはいえ誠に壮快な気分にしたる事ができ、ホテルでは食事をしながら個々の体験談や疑問などに話が及び和気あいあいのなか、温泉につきり、体を労り、各自今後の健闘を



胸に一日を過ごし、手にはオミヤゲ持ち、帰路についた次第です。

(報告 佐藤 勝利)

オホーツク

「第23回オホーツク腎友会通常総会」開催

総会

4月27日(日)、平成20年度の通常総会が網走市エコセンターにて開催されました。桜の花便りも開かれる中、オホーツクの地は、まだまだ肌寒く感じられる一日でした。参加者も少なく、会員78名中会員本人出席14名、委任状出席52名でした。黙祷の後、会長挨拶、道腎協副会



長掛札様、網走市役所社会福祉部長 国清様、難病連北見支部長風様とご挨拶を賜りました。鯉谷道議会議員を初め道腎協、各地域腎友会からの祝電、メッセージが披露されました。議事に入り全ての報告の部で承認されました。

当会は、任期一年を残し、腎移植の為、体調不良の為と、沢山の役員が辞任致しました。

9名の欠員が出てしまい役員は半数になってしまいました。会費を預かって頂く為に、2名の方を新たに役員にお願い致しまして、後は、会長が事務局長を兼任という事にな

り、今年度は、少ない人数で活動する事になりました。

現在、透析導入者は、糖尿病で眼が悪く方や高齢の方が多く、入会される方も減少して居りますので、まして役員にはなって頂ける方がいないのが現状です。他の腎友会でも同じ悩みを、持っているのでは、と心配して居ります。昨年は、移植者、移動、逝去された方が12名も居りましたので会員数が78名になってしまいました。今迄に無い減少になりました。今年度は何かと大変だと思えますが役員一同愛和一体化をさせて頂き、活動していきたいと思っております。

(報告 佐々木保子)

北見

「オホーツク圏の医療を考える」

みんなのつどい」開催





2008年2月26日(火)午後1時30分より北見芸術文化ホール中ホールにて、道難病連の主催で地元の難病患者や一般市民ら約250人が参加して緊急集会が行われた。

北見赤十字病院が打ち出した4月からの内科一時休診の方針に関して、パーチェット病や関節リウマチ、膠原病など難病患者が「安心して地元で治療を受けたい」(転院が)あまりにも突然で、なかなか気持ちを整理することができない」などと訴えた。

これに対し、北見赤十字病院の荒川副院長は「短期的な形で2人ほ

ど、医師を派遣してもらえることになっていく。」との見通しを明らかにした。実現すれば、同病院が4月から予定している内科の一時休診を回避できる可能性も出てきそうだ。

また、道難病連が網走管内のリウマチ・膠原病患者らに行ったアンケート結果として、回答者の約4割が、転院先が決まっていないと答えるなど、患者が抱える深刻な状況が報告された。(報告 浅見 恭行)

苦小牧

「第34回苦小牧腎友会定期総会・懇親会」開催

平成20年4月27日(日)、53名が出席してグランドホテルニュー王子で行

投稿

チャレンジジャー



佐藤時由(道南)
(透析歴11年目)

40有余年勤めた職場を定年退職



われました。

総会では、来賓の岩倉市長からは、財政が厳しい中ではありますが

し、2年目、食事療法の効果もなく、人工透析を宣言されシャント造成のため入院。それまでは病気持ちいものは全くなく、入院生活も始めてであつた。

平成9年12月、2か月の入院生活から3時間の通院透析になった。平成10年9月に4時間透析となり、平成11年3月には、血液検査の結果『カリウム』が高いので5時間透析と言う指示が出た「今から5時間透析で

私達の請願が少しでも叶う様努力したい、との嬉しい言葉をいただきました。新事務局長に千秋病院の平野陽子さん、会計監査に王子病院の相澤健二さんを選出し、その他の議題も滞りなく拍手を以って終わりました。懇親会では、苦小牧ブラスバンドによる懐かしい曲の演奏と楽しいマジックショーで会場は笑いに包まれ、恒例のビンゴゲームではより一層盛り上がり、カラオケもあり時間が足りない程でした。最後に元会長の村田さんの挨拶で、来年も皆さん元気な顔でお会いしたいですね、と万歳三唱で閉会しました。

(報告 藤原美智子)

20年は大丈夫だが、4時間では10年は良いがその先はわからない。」と、言われ、だが5時間は辛いので取あえず4時間半で始める事にし、栄養指導を受けながらリン・カリウムを極力抑える食事に努め平成12年5月には4時間に戻した。平成14年1月シャント停止。2度目のシャント造成から静脈瘤が大きくなりだして真夏でも半袖シャツが着られない状態でした。「お前半袖シャツも持って

いないのか。」と、仲間が冷やかさ
れもしたが、平成19年3月「そろそ
ろ静脈瘤の切除とシャントに変わる
動脈表在化手術をしたら静脈瘤が出
来ないだろう。」と、言うことで3
度目の入院、静脈瘤の切除と動脈表
在化の手術は上手くいったが、手術
を担当した医師が「動脈の血管壁が
薄く太い為穿刺をしたら止血が難し
いだろう」と言うことになり、シャ
ント造成しようと言うことになった。

1 か月半かかって動脈表在化と3
つ目になるシャントを持って退院。
昨年の夏は半袖シャツを堂々と着て
仲間が記録写真を添えて披露した
が、上腕に穿刺するようになってほ
ぼ半年又もや静脈が太ってきた。
血管壁が薄く太いのは宿命だろう
と思うのだが、今年の夏は半袖で隠
れていくれ、と内心思っていると
ころである。

「4時間透析で10年は大丈夫」と言
われて4時間半に延長して1年2か
月で4時間に戻したりしながら透析
を受け始めて10年の今年、腎友会か
ら、透析歴10年の記念品を頂いた。

さて、この先どうなる事やら、ま
た、記念品をいただいて腎友会のだ
いめに何をしてきたのか、思案と反省

をしているところである。

まだまだ増えることが予測されて
いる慢性腎疾患患者も高齢化し、高
齢者医療費の負担増、終末期医療の
問題など山積しているが、先人が
心血を注いで築き上げてきた各種助

現在までの道程



藤田豊之助
(伊達)

昭和44年1月、旭川通信病院にて。
原因は、何も思い当たるものは無かつ
た。下痢がしばらく続いたので、内
科受診。触診で左腹部に異常を感じ
たようだ。婦人科外科の先生が診察。
専門語で何か話をしてしたが、私
には、わからなかった。それから一
週間近く経って、病院に行く。看護
師に強い口調で、早く来なかつた事
を叱られた。「死んでもいいの。」と、
いう言葉が入っていたので、何か重
大な事があるのかと思った。撮った
レントゲンには、左脇腹に影がある。
精密検査が必要と言われる。後日造

成・制度・医療費助成など、我々の
代で衰退させることは出来ないこと
であり、これを維持させるためには、
患者一人ひとりが自覚し、後世に引
き継いでいかなければならないので
はないかと思うところである。

影剤を腸に入れて、レントゲン。「大
腸癌」初期である。至急手当てが必
要と。当日は午後から、癌で亡くなつ
た母の一周忌法要の日で、変なめぐ
り合わせと感ずる。

旭川市立病院、外科入院。大腸に
異常はなく、腎臓に腫瘍があると判
り開腹手術。のう胞腎と診断。3月
に入り職場復帰。月1回の外来での
検査となる。昭和58年7月、定年退
職。

昭和44年にのう胞腎が見つかり、
現在まで15年よく頑張つて勤めてこ
れたことに感謝。昭和60年8月、原
因不明の発熱、39度の熱が続く。日
航機がレーダーから消えたテレビ
を、意識もうろうと聞いたような気
がする。ハイヤーで一週間くらい通
院、抗生剤の点滴で回復。10月、千
葉県佐倉市、国立佐倉病院で、診察
を受け、北海道旭川から来たことを
話すと、親切に対応してくれた。佐

倉病院は、腎移植に対応するのが主
の病院であったようだ。昭和61年1
月、腎のう胞の水を抜く。左右合わ
せて200ccくらい取れた。このと
き、腎機能、正常の半分であった。
平成5年4月、腎のう胞の水を抜
く、4回目。600ccの水が抜かれ
る。平成7年6月に、旭川市立病院
から伊達赤十字病院に変わる。市立
病院の手術を持って、泌尿器科、循
環器科、消化器内科、とお世話にな
ることとなった。平成13年11月、透
析導入となる。平成17年6月、透析
中に血圧が下がり、意識不明の状態。
循環器科入院、心臓に機械入る、身
体障害者1級となった。現在、伊達
市内のいぶり腎泌尿器科クリニック
で透析を続けている。大正12年生ま
れ、85歳。

表紙の写真

題名 「夏の花」(きりえ)

作者 武川秀男氏(紋別)

真夏の暑い昼下がりの中を「き
りえ」の題材を求めて近所を歩
いていると、強い陽差しの中に
健気に咲く花達に心を動かされ
「きりえ」にしてみたくなった。

『堀井さんへ』

三 上 留美子（札幌）

堀井さんとの事を書いて下さいと言われましたが、堀井さんがいないという事が、未だ実感できないでいる私たちです。

昔は喫茶クインテスがあり、そこには店主の村本さんがいて、沢山の仲間が集まっていました。堀井さんは、仕事帰りにいつも立ち寄り、一杯のコーヒーを楽しみ「ここに来て村本さんの顔を見るとほっとする。」と、言い談笑して帰っていったものでした。

その村本さんが5月24日に亡くなり、そして4年後の今年5月26日に堀井さんが亡くなりました。これも何かの縁なのかも。堀井さんは現在事務局長の苜木さんに1年前、「1年間は付いて見てあげられるけどそれからは分からない。」と、おっしゃったそうです。それが1年前の5月27日で「言葉通りになっちゃいました。」と、悲しそうに話して下さいました。

「いままで御世話になりありがとうございますございました。」もうあちらの世界に行かせてほしい。」この言葉が私たち友人に声をかけていただいた最後の言葉でした。私たちは胸がいつばいで「わたしたちの方が色々迷惑をかけたよ。」と、言うのが精いっぱいでした。それから2週間後遠くに旅立たれました。

奥さんのお話によると、亡くなる前にきちんと遺言を残されたそうです。「仕事も患者会の事ももう充分やったので思い残すことはない。もういいでしょ。」透析ももうしたくない。」とそしてお嬢さんと奥様にも「迷惑掛けてごめん。」と、奥様は「本当に優しい人で結婚前も結婚後も変わらない人でした。」と、「生まれ変わっても私をお嫁さんにしてくれますか？」と、聞くと「もちろん。」と、答えてくれたそうです。

1年位前から、「もう疲れた。疲れた。いつ死んでもいいよ。」と、いつ

ており、私が「お嬢さんの花嫁姿を見ないと死ねないよ。」と、言う心なしか淋しそうに微笑んでいたものでした。

私との出会いは20数年前に、透析導入の施設から堀井さんの勤めている病院へ転院した時からでした。昔は病院の旅行などは運転手もかつて、1年に1回は皆を何処かに連れて行って下さいました。透析のデータで分からない事があつたら誰にでも親切に教えて下さり、導入したばかりの頃にはカリウム・リンなどいちいち指導してくれたものでした。

私が道腎協と関わりを持つ機会を与えて下さったのも堀井さんでした。患者会については本当に生き字引のように何でも知っていましたし、社会情勢にも新聞を何時間も掛けて読むなど本当に勉強家でした。

道腎協に於いても昭和63年より会計、事務局長、運営委員、副会長、会長、相談役と「堀井さん道腎協でやってない役職はないね。」と言うぐらいなんでもこなしてきました。いつも役員改選期になると「もうやめてもいいでしょ。」と言い続けていたのに辞めることもできなくて、

患者会とともに生きた一生だったと思います。

何にでも一生懸命な人で、会議の前日は「寝れないんだ。」と、いい、会議が終わると「あーほっとする。でもまた会議だね。」と、気の休まる時間もないような生活だったと思います。奥さんが堀井さんの亡くなった後に「あんなに勉強しないと患者会はやっていけないのかと思っただぐらい、いつも部屋で勉強してたよ。」と、おっしゃったように、本当にいろいろなことを知っていました。

札幌の鈴木会長が「道腎協の生き字引がまた一人亡くなってしまったね。」と、言いました。

私たちには、皆持つて生まれた運命があり寿命もあるのだと思います。友人との別れは遣りきれない気持ちに陥ってしまいます。出会いと別れいつも背中合わせ。堀井さんのように出会った人には誰にでも優しくしたいのですがなかなか出来ません。きっと堀井さんは天国で笑っているかも。



透析患者が利用できる福祉制度を知っていますか？

皆さんは透析導入時に、居住の市区町村役場の福祉課に申請をし、身体障害者手帳を取得している事と思います。日本国憲法では、身体にどんな障害があってもその人が健康な人と同じく、社会のなかで安心して生活できるように、その権利が保障されていて、その考えに基づきつくられたのが「身体障害者福祉法」等の社会福祉関係法です。身体障害者手帳（略 身体障害者手帳）を取得することによって、障害のために生じる負担を軽減する福祉制度を利用する事ができます。ですから身体障害者手帳とは、「身体障害者福祉法」等の法律による福祉制度を利用する資格があるという事を示す「証明書」と言えます。身体障害者には特別障害者（身体障害者手帳1級2級）と障害者（身体障害者手帳3級6級）が対象になる福祉制度があり、手帳の等級により受けられるものと、受けられないものがあります。

透析患者は、通常身体障害者手帳1級に該当しますが、糖尿病腎症で透析に入られた方で、初期には血清クレアチニン値が8 mg/dl未満の方は3級、まれに5 mg/dl未満の方は4級という事があります。（透析患者・腎機能障害者は1級、3級、4級で、2級はありません。種別では第1種身体障害者です。）血清クレアチニン値が8 mg/dl以上になった時点で、再交付の申請をすると、身体障害者手帳の級を1級にする事ができます。しかし、身体障害者手帳の交付・再交付は基準に該当すると自動的に交付されるものではありません。個人が申請し手続きを行うことにより、はじめて取得できるものなのです。今回は主な福祉制度を確認しましょう。

自動車税、軽自動車税 自動車取得税が免除となります

●身体障害者本人が運転する場合は1級・3級・4級の人が対象。生計を同じくする方が運転する場合は1級と3級の人が対象。
窓口く各道税事務所、各支庁の自動車税事務所
必要なものく
自動車税、自動車取得税減免申請書、運転免許証、身障者手

帳、自動車車検証、印鑑、世帯全員の住民票
（生計を同じくする人が運転する場合のみ）

税金の減免があります

●所得税・住民税・相続税は1く6級まで控除の対象。贈与税は1く2級が非課税の対象に。
窓口く詳細は税務署、住民税は市区町村役場の税務課

交通機関の運賃割引があります

●JR運賃の割引（全国）
・身体障害者（第1種・2種）が単身で100 kmを超える乗車の時、普通乗車券が5割引
・身体障害者（第1種）が介護者（1人）と乗車の時、距離に関係なく、普通乗車券・回数券・急行券・定期券が介護者ともに5割引
・乗車券購入時に身障手帳を提示

航空運賃の割引（全国）

・通常、国内線に限り、身体障害者（第1種）と介護者1人の運賃が25%割引
・障害者割引率は航空会社・時期・路線によって異なる場合があります

・購入時に身障手帳を提示

・透析患者（腎機能障害者）は第1種身体障害者です。

●タクシー料金の割引（全国）
タクシー運賃1割引
運転手に身障者手帳を提示
必要事項を書類に記入

●路線バス・地下鉄等・料金の割引（全国）
乗車券購入時・支払い時に半額割引、身障者手帳を提示・携帯の事

●北海道・腎機能障害者通院交通費助成
居住地以外の医療機関で透析・所得制限有り等条件を満たす人
市町村役場福祉課に問い合わせ

●各市町村独自の交通費助成
お住まいの市町村によって異なる、各市町村役場福祉課に問い合わせ

●有料道路通行料金の減額
・腎機能障害者（第1種）の場合
は、本人運転・本人同乗で介護者運転、いずれの時も、50%割引、本人又は、本人と生計が同

透析患者が身体障害者手帳を交付されるようになったのは、昭和47年（1972年）10月から。当時は透析医療の黎明期、昭和42年（1967年）に透析に健康保険が適用になり、社会保険本人は無料で透析を受けられました。国民健康保険本人と家族は自己負担額が約10〜30万円/月という「金の切れ目が命の切れ目」といわれた時代です。こうした中、昭和46年（1971年）全腎協が結成され、すぐに第1次全国請願署名も実施。その5項目の中に「人工透析患者に身体障害者手帳の交付」も掲げたのです。その成果として翌年、透析患者に身体障害者手帳が交付。身体障害者福祉法による育成医療・更生医療（現自立支援医療）が適用され、透析患者の医療費は激減。また、北海道では昭和48年（1973年）10月から重度心身障害者医療費助成制度が適用。その他種々の福祉制度も受けられるようになったのです。

じである人が所有する乗用車・ライトバン・特殊用途自動車を対象、ただし、これらの人が自動車を所有していない場合、日常的介護者が所有する自動車が対象となる

・身体障害者1人に1台が適用、営業用は除く

・市区町村役場の福祉課に

身体障害者手帳

免許証

車検証

を持ち申請し、手帳に証明印を受ける

道路料金支払いの時、身障手帳を提示

・ETC車載器を取り付けた場合、上記に加え必要なもの

ETCカード、ETC車載器

セットアップ申込書・証明書（車載器購入時に販売店で発行）

駐車禁止区域に駐車できません。

「駐車禁止指定除外車」の
標章が障害者本人に交付
されるようになります。

（平成19年、9月から）

従来の車両に対する交付から、障害者本人への交付により、本人利用の介護タクシー・送迎サービス等の車両でも使用が可能となった。

●「駐車禁止指定除外車」の標章を

提示する事で、駐車禁止区域（法定禁止区域を除く）に駐車することができ

●居住の管轄の警察署で手続き
新規の場合

身障者手帳・印鑑を持ち申請書に記入

継続の場合

身障者手帳・印鑑・今までの標章（車両に交付を受けていた場合）を持ち申請書に記入

標章が期限内でも本人交付の標章に変更できる

手続きから標章が交付されるまで約1ヶ月

●本人申請が原則、入院している場合等は申請書に本人が署名捺印し、家族等が警察署で手続き可能

警察署からのお願いく同じ場所に

8時間以上駐車しないようにしましょう

平成20年10月1日からNHK放送受信料の免除基準が変わります

全額免除

身体障害者が世帯の構成員にいて、世帯構成員全員が市町村民税

非課税の場合

半額免除

重度の身体障害者（内部障害等を追加）が世帯主の場合

その他の施設の割引

さまざまな公共施設等で身障者手帳を提示することにより、割引又は無料になる。（介護者1名も障害者本人と同じく割引になる事が多い。身障者手帳を常に携帯し窓口で確かめましょう。

【例】

・公立の動物園・道立美術館

（近代・旭川・帯広・函館）では、本人介護者1人が無料

・映画館は本人介護者2人が、上

映1人1回1、000円

このように、身体障害者手帳取得で種々の制度を利用できますが、この原点は患者会の先輩の身をけずる命を守る活動であり、種々の制度の内部障害者（腎機能障害者等）への制度適応拡大等は、私たちの患者会活動で勝ち取ってきたものです。昨今、透析患者といえども、厳しい社会情勢の中におかれています。私たち自身のために、明日の透析患者のために、制度等の後退を止めるためにも患者一人ひとりが自覚を持ち、協力する必要があります。会員の皆さんも、未加入の患者さんに一言声をかけて、患者会の大切さを伝えていただければと思います。

道腎協青年部について

小田 淳一 (岩見沢)



こんにちは。岩見沢腎友会の小田淳一と申します。出身は岩見沢で、ずっと暮らしています。現在は市内の福祉会社で車いすやストレッチャーで移送することが出来るタクシードライバーとして勤務しています。勤めて1年半になりますが、日々分からないことだらけで、勉強の毎日です。何か福祉のことで分らない事があれば、私に相談してみてください！会社の人に聞きますので(笑)。

4年前、腎友会に入会した時は、知らないことがあまりにも多すぎて、誰に聞いていいかさえわからず、困窮していた時に、道腎協青年部の存在を知り、透析や制度のことを詳しく情報を得るために入部を決意し

ました。

初めのころは、右も左も解らず不安でしたが、すぐに打ち解ける事が出来ました。又、制度等についても講習会や勉強会などを通じて学ぶ事が出来、とても良かったと思っております。

その他にも、毎年、夏には交流会、冬には勉強会があり、仲間の輪を更に広げることが出来ます。私は、それが一番の楽しみですけど(笑)。

もし、透析になって不安な方々がいらつしやったら、是非、道腎協青年部に相談してみてください！必ず力になりますから。

『透析バンザイ』プレゼント

透析患者であるバンザイさんが、透析生活の日常や、悩み、透析治療など、ブログで書き下ろしたマンガが、コミックとして発売されました。定価945円(税込)。発行(株)イーホープ。(ISBN 978-4-901400-20-6)

著者バンザイさんのご厚意により、道腎協の会員10名の方にコミックをプレゼントして頂けることになりました。ご希望の方は、道腎協事務局へ、必要事項(住所、氏名、電話番号、コミック応募)を明記したはがきを

お送り頂くか、道腎協青年部ホームページより、必要事項を明記したメールをお送り下さい。締め切りは7月15日必着とさせていただきます。希望者多数の場合は抽選とさせていただきますので、ご了承下さい。なお、当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。発送は、出版元の(株)イーホープより、直接発送されます。

青年部員募集中

道腎協青年部は、地域腎友会の会員で49歳以下であれば、どなたでも入部可能です。入部方法は、道腎協事務局や地域腎友会にお問い合わせ頂くか、青年部ホームページより、お問い合わせ下さい。



コミック「透析バンザイ」のひとコマ

事務局通信

〆〆計報

堀井 和彦氏（享年55歳・札幌）
昭和62年〜63年まで会計、昭和63年〜平成5年・平成17年〜18年まで事務局長、平成6年〜10年まで運営委員、平成12年・平成15年〜16年まで副会長、平成14年には会長、その他（全腎協派遣役員、（財）道難病連派遣役員として多くの役職を務め活躍されました。平成20年5月26日逝去されました。

●お知らせ
●名称変更
（旧）十勝地方腎友会
（新）とかち腎友会

●事務局変更
オホーツク腎友会
〒093-10042
網走市向陽ヶ丘4-14
佐々木保子様方

■訂正
道腎協30周年記念誌に誤りがありました。訂正しお詫び致します。

（誤）16件
（正）161件
P51 全国献腎移植数

〆〆寄付ありがとうございます

| | |
|--------|------|
| 石田 祐二様 | 30万円 |
| エリピス様 | 1万円 |
| 川口 松男様 | 1万円 |
| 倉田 康司様 | 5千円 |

■幹事変更

| | |
|-------------|-----|
| 苦小牧 安田 隆伸 | （新） |
| オホーツク 村野 陽子 | （新） |
| 佐々木 保子 | （新） |

事務局活動経過報告

- 2月5日 北海道難病連へ国会請願署名(22,172筆分)発送
- 6日 道庁病院事務課に東明労災病院透析施設存続について確認(菅木事務局長)
- 14日 平成20年度診療報酬決定の速報を地域腎友会へFAX・郵送にて通知
- 18日 『医療通信』第22号 役員・地域腎友会へ発送
道庁を訪問(三上会計・菅木事務局長)
病院管理局吉田専門員と面談し紋別病院透析施設問題について確認
- 19日 第3回運営会議討議資料・資料No1 運営会議役員へ郵送
菅木事務局長 紋別出張 道立紋別病院透析問題対応の為
- 22日 第3回運営会議(1日目)12名出席
- 23日 第3回運営会議(2日目)10名出席
- 26日 財全腎協へ国会請願署名追加(364筆分)郵送
- 28日 組織検討委員派遣依頼の文書郵送
国会請願について各議員に文書郵送(仲野氏・鉢呂氏・逢坂氏・三井氏・石崎氏)
- 3月3日 第4回組織検討委員会案内文書を郵送
- 4日 財全腎協・北海道難病連へ国会請願署名追加分を郵送
- 5日 “どうじん”PR版(第118号)、初春号(第119号)発送
- 7日 “げんじんきょう”No226を発送
財全腎協へ国会請願署名追加分を郵送
- 11日 財全腎協からのヘパリン回収についての説明資料・非常持出袋の再度案内を地域腎友会へ発送
- 13日 財全腎協へ国会請願署名追加分郵送
第3回運営会議報告書を郵送
各地域腎友会へ活動状況報告書・平成20年度道腎協活動日程表郵送
- 14日 滝川・砂川へ出張(菅木事務局長)
“どうじん”PR版、医療講演会案内の配付について依頼
滝川市立病院透析室責任者 堀看護課長と面談
砂川市立病院事務局長と面談(医療講演会講師依頼の件文書持参)
- 15日 北海道難病連 実務担当者会議に出席(三上会計)
- 17日 第64回財全腎協北海道ブロック会議案内文書郵送
“医療通信”第23号 役員・地域腎友会へ発送
- 22・23日 第4回組織検討委員会開催 8名出席
- 24日 北海道腎バンクへ募金を寄贈(三上会計・菅木事務局長)
道庁を訪問(菅木事務局長)
健康推進課 岡村主幹へ「透析時間と生命予後に関する見解」を提出し、名寄市病院への働きかけを要請
- 26日 財全腎協へブロック活動報告書郵送
- 28・29日 “道腎協結成30周年記念誌”各県腎協・地域腎友会・全腎協等へ発送
- 4月2日 げんじんきょうNo226 声のテープ発送
道庁へ訪問(菅木事務局長)
医療政策課 成田主査と面談(公立病院集約化について)
福祉部総務課 京谷主査と面談(着任挨拶と意見交換会について)
旧腎友会滝川クリニック透析者の会会員へ個人会員加入のお願い文書郵送
- 11日 第64回財全腎協北海道ブロック会議討議資料・資料No2 役員へ郵送
- 14日 平成19年度第4回組織検討委員会報告書 役員・地域腎友会へ郵送
- 16日 静仁会静内病院訪問 山内事務局長、小島透析医長と面談(菅木事務局長)
静内腎友会(休会中)会員に個人会員加入のお願い文書を依頼するとともに、患者会組織の育成をお願い
- 19・20日 第64回財全腎協北海道ブロック会議開催 28名出席
- 22日 機関紙についてのアンケート用紙 地域腎友会へ郵送
- 24日 第31回定期総会案内文書 各県腎協、全腎協、メーカー、来賓へ郵送
- 30日 道議会各党派代表に第31回定期総会案内文書を持参(菅木事務局長)
道庁病院管理局 川端主査に面談(菅木事務局長)
紋別病院の将来・管理策・透析室の維持等について申し入れ
第64回財全腎協北海道ブロック会議報告書 役員・地域腎友会へ発送
第31回定期総会ポスター 地域腎友会へメール便にて発送
- 5月1日 げんじんきょうNo227、どうじん(平成20年度議案書)発送
- 13日 会費等についてのアンケート用紙 地域腎友会へ発送
- 24・25日 財全腎協全国大会(in富山)5名参加
- 27日 げんじんきょうNo227 声のテープ発送
- 28日 道庁へ訪問(財全腎協三上理事、菅木事務局長)
保健福祉課津津主幹に面談 高橋知事あての『重度心身障害者医療助成制度の適応要望書』を提出
- 31日 総会前ブロック会議・交流会開催 56名参加
第1回運営会議・第1回組織検討委員会案内文書 各委員に配布
- 6月1日 第31回定期総会滝川大会・医療講演会開催 会員等130名、来賓9名参加

(社)全腎協では腎臓病患者のための
(無料)電話相談をしています!

☎ 0120-08-8393 FAX:03(5395)2831
E-mail:soudan@zjk.or.jp

- ◆事前に日時をご予約下さい。どなたでも相談できます。
- ◆生活・福祉(1回の相談は30分)
担当:医療ソーシャルワーカー
7月10日(木)・25日(金)
8月14日(木)・29日(金)
9月11日(木)・26日(金)
- ◆栄養・食事(1回の相談は30分)
担当:管理栄養士
7月 3日(木)・18日(金)
8月 7日(木)・22日(金)
9月 4日(木)・19日(金)

皆様の健康生活をサポートします



エルピス

栄養ドリンク

販売価格
 1箱50本入り 10,500円(送料・税込)
 1箱10本入り 2,490円(送料・税込)

栄養機能食品 内容量:50ml/瓶
 1日の目安量:1本

コエンザイム粒



| コエンザイムQ10配合成分 | | |
|---------------|-------|--|
| コエンザイムQ10 | 30mg | |
| リコピン | 1.2mg | |
| ビタミンE | 13mg | |
| ルチン | 30mg | |
| EPA | 22mg | |
| DHA | 9mg | |
| ビタミンB1 | 2mg | |
| パントテン酸Ca | 2mg | |

栄養補助食品 1箱:内容量60粒
 ソフトカプセル(1粒400mg)
 1日の目安量:1~2粒

販売価格
 1箱 3,850円(送料・税込)

割引ポイント2倍セール実施中
 通常5%
2倍 10% 割引ポイント付
 期間/平成20年7月1日~8月31日まで
 ※獲得されたポイントは、次の購入時から利用できます。

エルピスは、皆様には不足しがちな栄養成分をバランスよく配合した栄養ドリンクです。

コエンザイム粒は、エルピスに不足する水に溶けない栄養成分をあつめたカプセルです。皆様のカラダを健康に保つために併せてご利用ください。

ご購入・お問い合わせは

Elpis エルピス 株式会社
 〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目18-27
 無料電話 **0120-393-578**
 (受付) 平日9:00~18:00、土・日・祝休業
FAX 06-4809-5575 (24時間受付)
E-メール elpis@joy.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www12.ocn.ne.jp/~elpis/>

皆さまからの便利 イキイキ元気伝言板

いつも親身な対応ありがとうございます。お蔭様で少しずつ体調が良くなっているようです。病院の帰り道の買い物に自信が出てきました。家に帰っても横になっていない自分に気が付きます。また、外出すると必ず1,2回は気分が悪くなったのですが、今はありません。嬉しくなります。いつまで経っても気の重い週3回の透析も頑張れます。「エルピス」さん、これからもずっとよろしく願います。

群馬県 女性 ?歳 透析歴10年



「エルピス」を知る前は、血圧低下、足のケイレン、透析後の倦怠感、貧血などでいつも苦しめられ体調が悪かったが、ずいぶん楽になった。最初の半年ほどは毎日飲んでいましたが、2年たった今は透析の後だけにしている。ただ、体調に波があるので、悪いときは毎日飲んでいるけれども。それと夏は、透析から帰ってよく冷えた「エルピス」を飲むと生き返る気がする。透析で干乾びた身体に栄養が浸み込んでいく感じだね。ホント!

岐阜県 男性 62歳 透析歴20年



透析中に血圧が下がりますと同時に足のフクラハギが硬直する、あの痛みは忘れられない。透析のたびに心配していたが、最近は悩みが薄れた。まったく治まったわけではないが、回数がハッキリ減り、ツリも軽く済むようになった。また、貧血にも効果がでてきたようだ。最近、合成保存料無添加に変わったように、何度も「エルピス」の改良を重ねてくれる会社の姿勢がうれしい。

熊本県 男性 68歳 透析歴8年



エルピスに出会えて本当に良かったとおもっています。ここ数年、不整脈がひどくて、立っていても、座っていても辛くてベッドに入っているしか方法がありませんでした。「エルピス」と「コエンザイム粒」の利用を開始して半年経った今では、不整脈が治まり、ちょっとした外出も心配せずにできるようになりました。透析中の血圧低下や倦怠感も前よりは良くなったようです。

和歌山県 女性 67歳 透析歴16年



医師と共同開発で生まれた栄養補助ドリンク

全国の腎友会の皆様の元気とやる気を応援します。

容量 30mL
オレンジ風味

新発売

カルフェO
スーパー30

30mL

L-カルニチン
350mg
コエンザイムQ10

必須アミノ酸、亜鉛など
学会の研究等で摂取する
ことが大切だと言われている
栄養素をさらに加えました

L-カルニチン/コエンザイムQ10/必須アミノ酸(7種類)/亜鉛/鉄/ビタミンB1/ビタミンB2/ビタミンB6/ナイアシン/葉酸/クエン酸/他



1日の目安/1~2本
一瓶中のリン、カリウムとも0.3mg以下です

容量 50mL
バナナ風味

カルフェO
Carfero

天然
L-カルニチン
含有

平成11年発売以来
大好評の実績

天然L-カルニチン/鉄/
ビタミンB6/ナイアシン/
ビタミンB1/葉酸/ク
エン酸/ロイシン/カル
ノシン/アセチル/リジ
ン/セリン/他



1日の目安/1~2本
一瓶中のリンは2.6mg、カリウムは0.5mgと極めて微量です

容量 20mL
リンゴ風味

カルフェO
マルチ20

まずは
おすすめしたい
ベーシックタイプ

L-カルニチン
350mg配合

L-カルニチン/濃縮リンゴ果
汁/鉄/ナイアシン/ビタミン
B6/メチルヘスベリジン(溶
性ビタミンP)/パリン/リジ
ン/ビタミンB1/ビタミンB2/
葉酸/クエン酸/他



1日の目安/1~2本
一瓶中のリンは0.4mg、カリウムは2.4mgと極めて微量です

カルフェO シリーズ お試しキャンペーン実施中

半額



お電話でお申し込み下さい

ヤサイ イチニサン

☎0120-831-123

はじめてご購入の方に限り

1ポイント進呈

カルフェO マルチ20

1,110円 税込 送料 無料

カルフェO スーパー30
お試し用(10本入り)
通常 2,220円

お一人様一回限り 各10本

ポイントプレゼント

「カルフェO」「マルチ20」
「スーパー30」をご購入すると

ベータ食品の厳選商品が選べる!もらえる!

ポイントマークを集めてご応募下さい。1
ポイントあたり約150円換算で、相当額
の商品を選んで交換することが出来ます。

例えば

14ポイントで「カルフェO」「マルチ20」又は「スーパー30」10本入り
27ポイントで「薬々散歩」お徳用450粒入り1袋をプレゼント!

コースのご案内

通常ご注文コース

1箱(50本入り) 5ポイント進呈

「カルフェO」
「マルチ20」 ▶9,500円 送料・税込

1箱(50本入り) 5ポイント進呈

「スーパー30」 ▶10,500円 送料・税込

定期お届けコース 送料・税込

価格がさらにおトク

継続してお買い上げの方に、さらにおトクなコースもございます

詳しくは
お問い合わせ下さい

ベータ食品株式会社

〒531-0071 大阪市北区中津1-6-28
TEL.06-6371-7111

お申し込み先

☎0120-831-123 FAX 06-6371-7110

受付時間 平日 9:00~18:00/土日祝 10:00~17:00 URL http://www.beta-k.com

健康相談室

☎0120-771-315

受付時間 月~土/10:00~17:00

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可H・S・K通巻435号
平成20年6月10日発行(毎月10日発行)

発行所 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
印刷所 大輝印刷株式会社

(購読料
会費に
含む)